

# シェルスクリプトのオプション処理

シェルスクリプトにオプションを追加したいことがある。[getopt](#)やgetoptsもあるのだが、独自形式にしたければ自分で定義して書けばよい。

## getopts使用例

getoptsを使う場合はこのような書き方になる。

[test-getopts.sh](#)

```
#!/bin/sh
while getopts ab opt
do
    case $opt in
        a)
            echo "Option -a"
            ;;
        b)
            file="$2"
            echo "Option -b file=${file}"
            shift
            ;;
        *|-)
            break
            ;;
    esac
done
echo "file=${file}"
echo "args: $@"
```

オプション指定時にはこのようになる。

```
$ ./test-getopts.sh -a -b xxx yyy zzz
Option -a
Option -b file=-b
Option -b file=xxx
file=xxx
args: xxx yyy zzz
```

オプション[-b]が2回呼び出されているものの、最終的には必要な変数設定ができています。ただし、**xxx**がbreak条件にあたるので、**xxx**が残った状態になる。

# getopts無し

1文字オプション以外にしなければ次のように書くこともできる。

## test-optarg.sh

```
#!/bin/sh
while [ -n "$1" ]
do
    case "$1" in
        -abc)
            echo "Option -abc"
            ;;
        -xyz)
            file="$2"
            echo "Option -xyz file=${file}"
            shift
            ;;
        *|--)
            break
            ;;
    esac
    shift
done
echo "file=${file}"
echo "args: $@"
```

オプション指定時にはこのようになる。

```
$ ./test-optarg.sh -abc -xyz aaa bbb
Option -abc
Option -xyz file=aaa
file=aaa
args: bbb
```

